

寺田盛紀・諸外国における高等教育段階の職業教育制度概観(中教審特別部会第3回\_2015\_07\_27)  
 実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化に関する有識者会議(第4回) 2014.11.07の改訂版

## 諸外国における高等教育段階の職業教育制度概観

—アメリカ・ドイツ・韓国・中国—

寺田盛紀(名古屋大学)

- |   |   |
|---|---|
| 1. 制度の成り立ち                                  | 2. 「実践的な」職業教育を行う高等教育機関の種類と学校体系における位置づけ：教育の分野、学位・称号、動態、就職後の進路やキャリアなど |
| 3. 教育課程(とくにインターンシップ等)：企業との連携、実践的ニーズを反映する仕組み | 4. 教員資格   |
| 5. 質保証                                      | 6. 新動向・課題   |

### 1. 制度の成り立ち

#### 1-1. アメリカの Community college , Technical college : ISCED 5B

- ・1901年設立、1902年認可、1903年認証評価のイリノイ州ジョリエの Jolie Junior College(community college)がアメリカ最初の前バッチェラープログラム提供。
- ・大戦圧力の中での技術開発に伴う2年制プログラムの開発の必要性。
- ・ジョリエ高等学校監督官とシカゴ大学長との呼びかけによる。

#### 1-2. ドイツの Fachhochschule (University of applied sciences) 5A

- ・1968年の各州文部大臣会議協定 1969-1971年に NRW 州を初め、制度化。
- ・かつての州立の非高等教育機関であった Ingenieurschule(技術者学校)や Fachschule 等をベースに、Universität の Ingenieur でない、実践的エンジニア”Ingenieur (FH)”の養成
- ・ECの1963年共通職業訓練政策の一部としての高等教育学位相互承認作業への対応
- ・同校の学生等による卒業資格の欧州通用制と地位改善運動への連邦政府の回答

#### 1-3. 韓国の「専門大学」 Junior college, Technical college

- ・1963年日本モデルの5年制高専を1970年に高卒2年制専門学校に改変後、1977年以降初級大学(短大)と合体し、専門大学に。
- ・研究志向でない、実務教育志向の中堅工業技術者や医療関係技術者等の養成
- ・韓国では、「[大学]卒でないと就職や結婚にも不利」と言われる風土

#### 1-4. 中国：職業技術(=専門)学院等 (Vocational college etc.)

- ・1980年江蘇省南京市「金陵職業大学」で初めての地方職業大学が誕生。1985年党中央委員会の決定(高等職業技術院の設置・拡大)により、上海市の3つの中等専門学校(4年制)で5年制の実験。1996年職業教育法、1998年高等教育法で全土に制度化
- ・目的は中等専門教育と高等専門教育の接続により、技術応用型(技師・技能者のつなぎ)の人材育成
- ・技術的ニーズとともに(というより)、韓国と同様、教育市場拡大(高学歴化)対応という性格も指摘される。

## 2. 各国の実践的な高等職業教育機関の種類・学校体系における位置づけ

### 2-1. 各国比較概観

#### ー 5Bタイプへの依存度

：図：高等教育(年齢世代内卒業率)におけるBタイプ(専修・短大・高専)への依存度の高さ

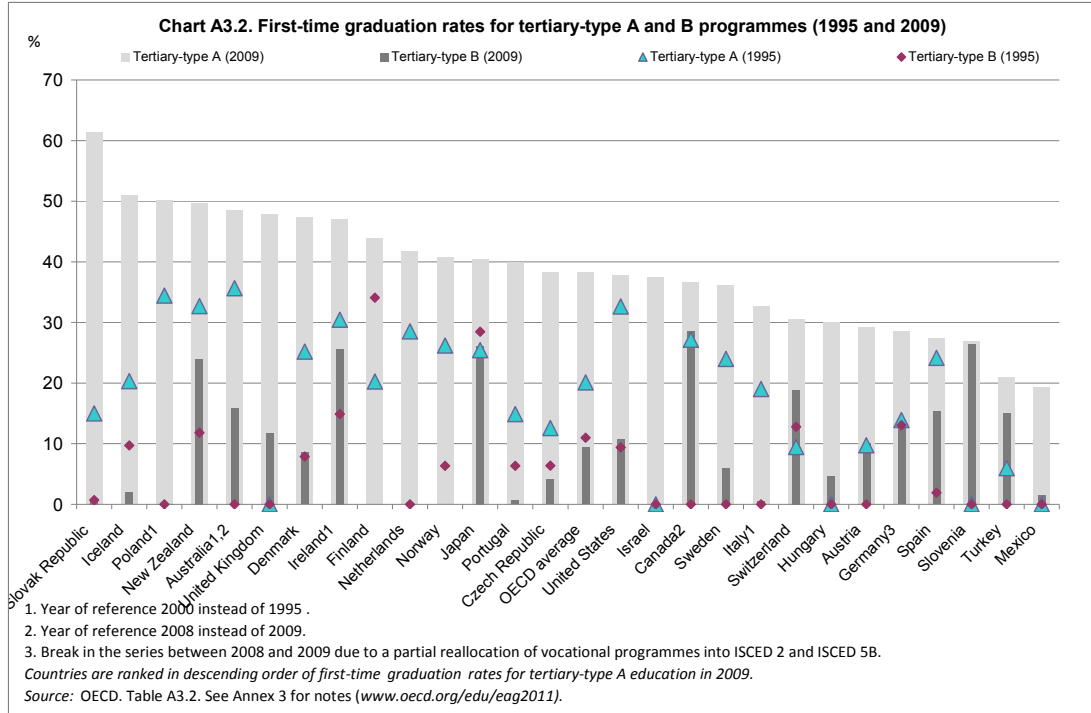
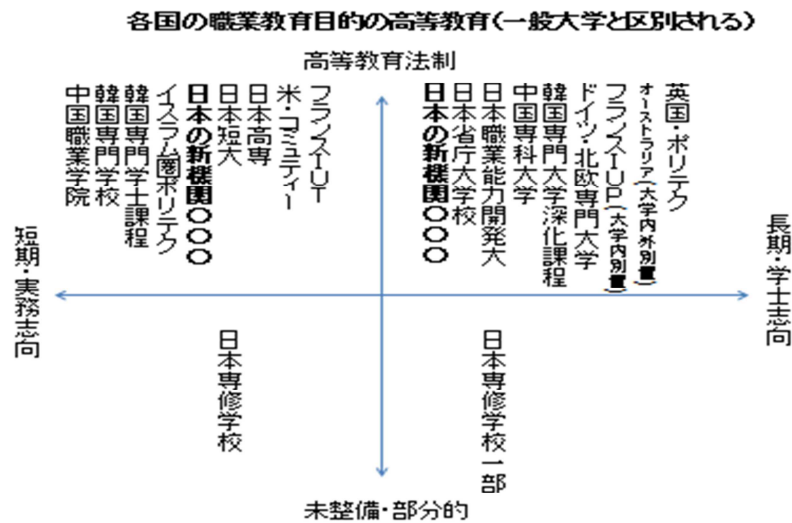


図 タイプ別高等教育機関卒業率（1995年と2009年の比較）

(出典) OECD “Education at a Glance”, 2011, p.63.

#### ー 法制上の位置づけと年限

高等教育法制の中に、中等から接続し、短期(B)から長期(A)に繋がる体系がない。



寺田(2012)財務総合政策研究所(2012)p.137の図を若干修正

## 2-2. アメリカ

### 2-2-1. 種類と性格

#### A. Community college : ISCED 5B=2年標準

- ・人文、社会、技術等総合的
- ・公立(教育区=county 立)
- ・一般教育と専門課程(資格対応)
- ・credits は4年制への編入を前提とする(一般教養と4年制と同程度の専門課程)。
- ・取得学位 Degree・ライセンス

A-1 : 4年制大学編入プログラム学生 ; (Bachelor) Associate of Arts, Associate of Science  
主に、一般教養科目(30CR)と文系・理系基礎科目(31CR)

A-2 : 2年制キャリア・専門プログラム履修生 ; ほぼすべてのプログラムが、"Associate of Applied Science" "○○○Associate Degree" と各職業別 Certificate や受験資格(積み増し=実質3年もしくは4年間かかるものもある。)

\*AA 及び AS の場合は、ほぼすべての大学・学部が受け入れ。Applied Science の場合は少数の大学の学部・分野を指定して、受け入れ。

\*\* 職業教育プログラム生が A・Arts か A・Science を取る場合は、Associate でもさらに61単位(2年間、実質4年間)必要。

#### B. Technical college : 5B

- ・小規模・私立・就職希望者が多い
- ・コンピュータ、自動車、電気、医療、建築 etc.工業系中心
- ・credits は編入対応(資格対応で)
- ・取得 degree ; 主に、Associate of Applied Science Degree

### 2-2-2. 法制 : 高等教育法と職業教育単独法で規定

#### 1965年高等教育法 SEC101,(3)

「機関がバッチェラー学位を授与する教育プログラム、もしくは1つの学位(associate)かプロフェッショナル学位を授与するに十分と認められる2年以上の教育プログラム」

改正高等教育法(1998,PL105-244,SEC.101,(a)(3))にも継承されている。

カール・D.パーキンス・キャリア・専門教育法(Career and Technical Education Act of 2006, PL109-270)の3-5、中等教育段階からカレッジ段階に至る「進学と現在あるいは将来の専門職キャリアに準備するために必要とされる、挑戦的なアカデミック基準と関連した専門的知識・技能」に関する「一連の科目を配置した組織的な教育」

#### 各州の教育法における規定

オハイオ州の場合(Ohio Laws and Rules, Ohio Revised Code, 2014.04.17, Title 33 Education, Chapter 3354, Community Colleges, 01 その定義。

「(C) コミュニティ・カレッジは2年間以内の、「arts and science(準学士)」と「technical(専門準学士)」あるいはそのいずれか、また・・・「成人教育プログラム」を含め、主にカレッジ学区内の人々に教育プログラムを提供するために組織された高卒後の公的教育機関である。・・・

(G) 「専門プログラム」は、コミュニティ・カレッジ内でコミュニティーの職業的要請に適合した学生を準備するために企図された諸科目のアカデミック単位(academic credits)を学生に得させることを目的とした、2年かもしくはそれ以下の高卒後のカリキュラム・プログラムである。」  
(Associate of applied science に必要な単位、という意味)

### 2-2-3 機関と学生の量的動態 →→ **別添・参考1**

- ・2年制プログラム合わせて、2009年現在、1721校(公立1000、NPO立を含め私立721)752.1万(うち公立が710.1万人、女子が57.5%で432.5)、対する4年制2774校、1290.6万人。
- ・Branch campusを除くと、学校数は2012-13；公立1087、私立189(約700万人)

## 2-3. ドイツ

### 2-3-1. 種類と性格

#### 5A Fachhochschule(University of Applied Sciences)

- ・他に教育大学、行政大学、芸術・音楽大学も
- ・エンジニアリング、情報技術、環境技術、ビジネス・マネジメントなど、新分野が多い。
- ・3~4年だが、ほとんど4年
- ・取得学位は、以前はDiploma(FH)、現在は5A機関(3年以上の学術課程)機関として、欧州統一的に、Bachelor課程とMaster課程の双方の設置が義務づけられ、“FH”はつけない。

#### 5B Verwaltungshochschule、Fachschule、Fachakademie

- ・Verwaltungshochschule：大卒後公務員向けの上級職養成；20ゼメスター週時間以上
- ・Fachschule：伝統的なTechniker等の1~3年制の養成学校であり、デュアルシステム修了者が条件になっており、フルタイム、パートタイム両方がある。専門分野指定の専門大学入学資格取得も可能。中等後教育であるので、Tertiary educationに入れられてはいるが、むしろ、職業継続教育にあたるものであり、高等教育Hochschulbildungには入らない。
- ・Fachakademie：バイエルン州特有の飲食、芸術、外国語、家政、特別支援教育、福祉教育関連の学校である。これも専門上級学校や職業上級学校修了者のコースであり、中等後機関ではあるが、これも、Fachschuleと同様専門指定大学入学資格取得可である。

### 2-3-2. 法制上の位置づけ

- ・連邦レベル：1976年の連邦高等教育大綱法第1条(EUの高等教育枠組みを優先し、2006年に2008年までの廃止決定)「本法で言う高等教育機関とは大学・・・、専門大学」と規定。
- ・州レベルの高等教育法では、2007年のNRW州の高等教育法では、「総合大学(Universitäten)は、研究、教育、学修、学術の後継者養成、学術の移転(とくに継

続学術教育、技術移転)を通して、学術的認識の獲得、学術の育成と発展に務めるものである。それは学術的認識の方法の応用を要する内外の職業活動に準備する。」 (§3(1))： 学術性とアカデミック志向の職業準備

- ・「専門大学(Fachhochschulen)は、応用的な教育と学修を通して、学術的認識や方法の応用あるいは芸術的制作能力を要する内外の職業活動に準備する。それは、研究と開発の任務、芸術・制作的任務および学術の移転の任務を負う。」 (§3(2)) 応用性(実務生)に焦点化。

### 2-3-3. 機関と学生の量的動態：2013/14年

- ・一般大学 106 大学(内私立 21), 176.5 万人(前年 164 万人)
- ・専門大学 212 大学(内私立 106), 89.6 万人(前年 82.8 万人)
  - \* 他の欧州諸国に比べて格段に進学率が低く、当面 50%を目指している。
- ・他にいずれも Hochschule で、教育大学(6)、神学大学(17)、芸術・音楽大学(53)、行政大学(29)もある。

#### ドイツの一般大学(Universität)と専門大学(Fachhochschule)の比較

(Bode,C.:1997, S.288, 寺田 2011,p.135 を元に→以降に最新の状況を不可)

	一般大学	専門大学
数	113→ 106	177→ 212
ミッション	研究と教育の同価値性	教育・学修優先
平均学生数	約 15, 000 人→ 全数 176.5 万人	約 4, 000 人→ 全数 89.6 万人
専門分野	全分野	工学、経営学、社会、デザイン→ ビジネス、応用工学 → <b>別添参考2</b>
入学資格	Abitur	Fachhochschulreife
就学期間	4~6 年	3~4 年
訓練の特徴	理論志向・部分的に選択制・研究志向の卒業研究	強い実践性・企業実習期の義務づけ・実践現場での卒業研究
修了証	以前 Diplom→Bachelor + 州国家資格(弁護士・教師等)	以前 Diplom(FH)→Bachelor
博士学位授与権	有	無 → BW・SH・Hessenの3州を除く
教授任用条件	Dr. + 教授昇格資格(Habilitation) か同等業績	Dr. + 以前 5 年以上→若干年の実務経験の顕著な業績
週平均授業時間	6~8 時間	14~18 時間
研究	基礎研究志向	教育優先・応用研究・コンサル

### 2-3-4. 卒業・就職後のキャリアと資質評価

→ **別添・参考3**

- 2008年調査:1997年卒業(Diplom 試験合格)者の10年後のポジションに関する一般大学・専門大学間比較:Higher Informations Systemの継続的追跡調査によると、民間企業管理職員、管理職能付職員、資格制限職職員について専門大学輩出率が優位、専門職(自由業)、公務員で一般大学卒が優位。
- 2013年調査:エアランゲン大学のニュルンベルグ・同近郊の1,188企業担当者調査;一般大学と専門大学の卒業従業員の資質評価調査では、「実践近接性」では、どちらの卒業生担当者も専門大卒優位、「専門知識」では複雑で、「大学卒が良」が多いものの、「ほぼ同じ」が目立つ。

## 2-4. 韓国の高等職業教育機関

### 2-4-1. 種類と性格

- ・ 専門大学(漢字表記で。英語表記は Junior College, Technical College) : 5B
- ・ 専門により異なる2~3年の「専門学士」課程(Associate Degree)とプラス1~2年の「専門深化課程(継続教育で、主に社会人・夜間の学士 Bachelor 授与課程) : 1997年の高等教育法第50条
- ・ 分野的には社会系、工業系、芸術系を中心にほぼすべての産業分野における中堅技術者・専門家の養成を行う。

### 2-4-2. 法制:1997年高等教育法(2007年改正)

- ・ 第2条(学校の種類)  
「高等教育を実施するために、次の各号の学校を置く。大学 2. 産業大学 3. 教育大学 4. 専門大学 5. 放送大学(略) 6. 技術大 7. 各種学校」
- ・ 第28条(大学の目的)「大学は人格を陶冶し、国家と人類社会の発展に必要な学術の深淵な理論とその応用方法を教授・研究し、国家と人類社会に貢献することを目的とする。」
- ・ 第47条(専門大学の目的)「専門大学は社会の各分野に関する専門的な知識と理論を教授・研究し、才能を練磨して国家社会の発展に必要な専門職業人を養成することを目的とする。」
- ・ 第50条(専門大学の学位授与)①「専門大学において学則で定める課程を履修した者に対して専門学士学位を授与する。」(専門学士課程、英文は Professional Bachelor)
- ・ 第50条2(専攻深化課程での学位授与)「専攻深化課程に入学し、学則で定める課程を修了した者には学士学位を授与することができる」(Bachelor degree)  
同項③(専攻深化課程の入学資格)「専攻深化課程に入学できる者は同一系列の専門大学を卒業し、関連分野での在職経験がある者とする。」  
→→ **別添・参考4**(韓国の専門大学学士課程設置校)
- ・ 第59条(各種学校)④「第35条第1項・第5項及び第50条の規定は、大学及び専門大学に準ずる各種学校のうち、上級学位課程への入学学歴の認められる学校として教育科学技術部長官の指定を受けた各種学校の場合に、これを準用する」<改正 1999.8.31, 2001.1.29, 2008.2.29>

### 2-4-3. 教育技術科学部(文部科学省)内の所管

- ・5局編成で、企画調整室、人材育成室(大学)、生涯職業教育局(専門大学・各種学校)、学校政策局(初等中等)、教育福祉支援局)

#### 2-4-4. 機関と学生の量的動態：2013.5

- ・一般大学 189校(57.6%) 343,652人入学(63.3%)
- ・専門大学 139校(42.4%) 199,559人入学(36.7%) →→ 別添資料(専攻深化課程は85大学・約500学科・定員11,000人定員で、ほとんど昼夜開講の夜間課程)

#### 2-4-5. 卒業後の進路

- 大田保健大学校の場合 **別添・参考5**
- 約70%が雇用保険付就職。他に入隊者が若干。その他が多い。
- 前期課程から進学は4年制大学への編入4.4%。(少数だが原則社会人のキャリアアップ向けであり、重要な役割)

### 2-5. 中国の職業技術学院及び専科大学

#### 2-5-1. 種類と性格

- ・技術高等専科学校：中卒4年制中等専門学校(ソ連のテフニクムモデル)に1年を積みます。工業技術系学校だが、次第に職業技術学院へ改組。
- ・単独職業技術学院(高職)＝統計上専科大学に含まれる。高卒対象の主に1996年職業教育法、1998年高等教育法以降の3年制学校。主に、民間学校であり、第3次産業。
- ・大学附設職業技術学院＝専科大学(高専)：高卒3年制課程で、第3次産業、医療系、教員養成系。

#### 2-5-2. 法制 (陸素菊訳)

##### 1996年職業教育法

- ・第十三条 職業の学校教育は初等、中等、高等な職業の学校教育に分ける。初等、中等の職業の学校教育はそれぞれ初等、中等の職業学校に実施される；高等職業教育は需要と条件によって高等な職業学校で実施され、あるいは普通の大学に実施される。その他の学校は教育行政の部門に統一して計画案配することによって、当該段階の職業の学校教育を実施することができる。

##### 1998年高等教育法

- ・第十六条 高等教育の学歴教育は専科の教育、本科の教育と大学院生の教育に分ける。高等教育の学歴教育は下記の学業の標準に合致するものとする。
  - (1) 専科の教育は学生に当専攻のなくてはならない基礎理論、専門の知識を掌握するべきであり、当専攻に必要とされる実務的な仕事に従事する基本的な技能と初歩的な能力を身につけるべきである。
  - (2) 本科の教育は学生に比較して系統的に当学科、専門の基礎理論、基本知識を掌握するべきであり、当専攻に必要とされる基本的な技能、方法と関連的な知識を掌握し、当専攻に必要とされる実務的な仕事と研究的な仕事に従事する初歩的な能力を身につけるべきである。

- ・取得学位：一般大学（本科）は学士であるが、専科は無し。但し、卒業証明書や職業能力  
証書授与。

### 2-5-3. 所管

- ・高等職業教育・専科大学が、国家教育部（文部科学省に当たる）高等教育司（局に当たる）  
で所管し、職業教育と成人教育司の所管ではない。

### 2-5-4. 機関と学生の量的動態

- ・本科(学部4年制) 1145校 303.8万人
- ・高職・専科 1297校 320.8万人

## 3. 教育課程・連携実習

### 3-1. アメリカのコミュニティーカレッジ(Columbus State University)

#### 3-1-1. 設置プログラム

##### － Associate of Science Degree Requirements (理系準学士)

- 61 Credit hour (一般教育系 30CH、追加選択 31CH 以上) (1 CH=1 セメスター毎週 1 時間)  
たいていは数単位)
- 前者：英語、数学、文学、社会・行動科学、生物・物理、他、後者：人類学、ビジネス、  
コミュニケーション、コンピュータプログラミング、ダンス、経済学、教育学、英文学、  
外国語、音楽などの分野から選択

##### － Associate of Arts Degree Requirements (文系準学士)

- 61CH(一般教育系 30 以上、追加選択 30CH)以上、一般教育 37CH 以上で Transfer 可。
- 前者：英語、数学、歴史学、文学・文化、社会・行動科学、生物・物理から。後者：会  
計、人類学、生物、物理、化学、コンピュータ、ダンス、経済学、英文学、数学、音楽、  
政治学、心理学、統計学などから。

##### － Career and Technical Program (2012 年夏期で 16399 人登録、通常 2 年プログラム)

\* 計 19 学科で各 1~5 の職業プログラムを提供

“Accounting Associate”+ 各期数科目で公認会計士基礎、税理士 Certificate 等の取得可(3 年)

“Business Management Associate +数科目で ” Entrepreneurship Certificate, Project management  
Certificate など。 → → **別添・参考6**(=認証課程)

“Automotive Technology Associate” +数科目で Maintenance and Light Repair certificate など。

この職業学士コースの学生が Transfer するには、Associate of Arts/Sciences を 1 から取らねばな  
らない。プラス 2 年追加学修。 → → 「アメリカ専門教育モデル」

#### 3-1-2. 実習の位置づけ：キャリア・専門プログラムの実習科目

－ 講義・実習融合型科目がメインであり、元来実践的科目なので、科目上、講義・実習別区分  
はない。

－ Certificate プログラムなどの場合、第 4 セメスターで必ず、Practicum があることが目立つ。  
3CH があるのが目立つ程度。 →→→ **別添・参考7**



- ・Accounting Practicum 3CH (4, SEME)
- ・Business Practicum 3Ch (4. SEME)

### 3-2. ドイツの専門大学のカリキュラム

#### 3-2-1. 教育課程における講義・実習・企業実習の区分

一般的に、学校制度と同様、中等教育、高等教育を通して、明確に区分する傾向、現場実習の専門教育上の独自の役割を位置づける伝統(人間観)がある。

#### 学修課程の基本的基準は州高等教育法：NRW州の場合

##### §60 (学修課程)

「(1) 本法にいう学修課程は試験規則によって定められ……。原則として職業資格修了に至るものとする。職業資格修了とは、職業準備や職業入門的な専門適正が授けられる学修課程の修了にあたるものである。(2) 大学は外国語の授業、外国語の学修課程および外国、とくに EU パートナー大学の学習課程と連携した国際課程、それらの一部は外国の大学での単位や試験がなされる課程を発展させることができる。」

##### §61 (正規の学業期間)

「(1) 正規の学業期間は、1つの学修課程の中に海外セメスター、**実習セメスター**やその他の職業実践学修期及び試験実施期間が統合された期間である。」(専門大学の要件) 「(2) 正規学修期間は、バッチェラー段階では1つの職業専門的修了に至ることによって終えられる6以上、8セメスター以内とする。」(専門大学を除き、マスター課程の場合はクラス2-4で、最高10セメスター)」

#### 各州・各大学・専門大学の試験規程

さらに、各州の高等教育法における学習指導要領的なものは**試験規則(Prüfungsordnung)**に表現される。

— NRWの場合：§64(2)「大学の試験規則は以下の点を定めなければならない。1. // 3. 学修課程に含まれる海外実習セメスター、実習セメスターもしくは職業実践学修期の諸条件。……10.……。」

— ビーレフェルド専門大学建築マネジメントとバッチェラー課程の試験規則(04.12.2012)

「§22 実習期 (1)プロジェクトマネジメント建築のバッチェラー課程には、1の実習期が設定される。……(3)この実習期は第5セメスター以降に行われ、ビーレフェルド専門大学が公法上の団体として遵守すべき法規に従う。」

までに証明を受けなければならない。……」

— ゲッチンゲン専門大学経営管理論バッチェラー課程の例 →→→ **別添・参考8**

4期に亘る企業実習。企業実習を通しての卒業研究など。

\* 資料のように、「**専門教育のドイツモデル**」には、**一般大学と同様、教養課程がない。**

(「**教養教育"Allgemeinbildung"**はギムナジウム13年制で終わる」) 欧州標準で12年制になってどうなる?

#### 3-2-2. 産学連携体制

ゲッチンゲン専門大学の例(寺田 2011 参照)

- ・ドイツテレコム、Continental など 11 のパートナー企業が学校評議会に参加。教育課程の協議。企業実習や就職を引き受ける。

### 3-3. 韓国

#### 3-3-1. 設置分野・課程

- ー 上述のように、一般課程(2～3年の専攻学士課程)と専攻深化課程

#### 3-3-1. 東洋工業専門大学(テクニカルカレッジ)を例にした産学連携カリキュラム経営

- ー 東洋工業専門大学 Dongyang Technical College の歴史
  - ・1939：工業専門学校
  - ・1965：工業高校設置(3年生)+2年制コース
  - ・1974：すでに Technical college に(2年制)
  - ・2002：3年制プログラム導入
  - ・2008：4年制プログラム導入
- ー 工業技術・情報系4学科とデザイン、ビジネス各1学科の6学科(Faculty)編成
- ー 2～3年制 Associate degree プログラムの上に、1-2年制プログラムの追加で Bachelor degree
- ー 企業との連携によるカリキュラム開発
  - ・Job analysis (Needs, Jobs, Tasks)－Curriculum development－Learning material development のサイクル
  - ・三星他、連携企業の要請ニーズ項目を取り入れて、カリキュラムの設計(企業での Tasks 分析の企業側発表2日間)。
  - ・企業設備の活用。
  - ・卒業生の80%以上が、連携企業に就職
  - ・大学講義での問題解決スキル志向の授業、41の課外活動、展示会への参加

#### 3-3-2. 医療・工芸(職業資格)系 A 専門大学(忠清南道)

- ー 貴金属・宝石デザインの一流人材の養成(貴金属加工技師、ジュエリーコーディネーター等10の資格に対応)と歯科衛生士(国家資格)対応の養成
- ー ジュエリー・デザイン科が2年制課程、歯科衛生科が3年制課程でいずれも専門学士(Associate)課程。後者はプラス1年の深化課程を設置。
- ー 前者の定員40名中、2013年度卒者2名が付近の国立大学デザイン科に編入。後者の専門学士課程の定員120名、深化課程の定員30名(9のうち20名が同校卒者)、深化課程卒者の若干名は近辺の国立ナンバースクールの大学院に進学。
- ー 歯科衛生科3年制の教育課程表(李明薫氏訳) → → → **別添・参考9**
  - ・名称と同様、ドイツ型に近いが、一定の教養(基礎力科目)の配置
  - ・各1ヶ月の現場実習(2年次と3年次)
  - ・専門大学等での教師養成課程(科目)も設置
  - ・金融ビジネス科は、企業提供学科

### 4. 質保証：設置認可・認証評価 (寺田 D1-2013, 学位機構 C1~3 参照)

## 4-1. アメリカ

### 4-1-1. 設置認可

<喜多村和之の研究> (アメリカにおける大学設置認可と大学評価 飯島宗一他 大学設置・評価の研究 東信堂 1990)

- ー カリフォルニア州の設置認可 1977年の“Private Postsecondary Act”により私立大学の認可プロセスの紹介。
  - ・州教育長に授業要覧等の提出・申請→アクレディテーション→学位授与プログラムの認可、アクレディテーション未合格の場合、申請→最低基準の審査(プログラムの教育目的適合性、施設・設備・教員数、教員資格、州・地方の消防・建築・衛生規則との適合等、9項目の紹介) → 学位授与プログラムの認可申請・許可
- ー 教員資格 (カリフォルニア州教育長規則の訳の中で) CCL 教員は不明。

### 4-1-2. オハイオ州の設置認可のプロセスと基準

- ー **Education Code** (*Ohio Laws and Rules, Revised Codes*)

**Chapter 3354 Community Colleges** (3353 は State University, 3375 は Technical College, 3358 は State Community College など州議会での議決・立法事項)

#### **3354.07 Community college plan- approval by board of regents.**

- ① 「コミュニティーカレッジ区の理事会メンバーの資格にもとづき、理事会は学区内のコミュニティーカレッジの公式プランを準備する。」(その中身: ニーズ、入学者見込み、用地、建物、施設カレッジの運営、組織、初期2年間の運営予算等)
- ③ パブリック・ヒヤリング(ニーズ、適切なロケーション、望ましい用地、教育施設)
- ④ Ohio Board of Regents でのプログラムの認可 (不可の場合、新プラン策定)

\*州議会での議決・立法化

- ー Board of Regent でのプログラムの

**Academic Program Approval: Community Colleges Ohio Board of Regents, University System of OHIO.**

<https://www.ohiohighered.org/academic-program-approval/community-college> (2013/04/17)

プログラム認可事務所はオハイオのコミュニティーカレッジの准学士と1年制の資格プログラムのレビューを行い、州高等教育システム評議会長官の認可に関する公式勧告を作成する。基本は2つの申請文書(Letter of Intent と Proposal for Undergraduate Degrees/Degree Programs、とくに後者)

### 4-1-3. 認証評価

<Columbus State Community College の場合> →→ **別添・参考6(再)**

- ・1963年 Columbus Area Technician School(ハイスクール後2年制課程)として開設
- ・1965年 Columbus Board of Education が Columbus Technical Institute の認証、1967年7月1日に state college として設置認可(chartering)。
- ・最初の認証は1973年

- ・1987年7月1日に、Columbus Board of Educationにより、Columbus State Collegeとして再設置認可
- ・最新の認証の承認は、The Higher Learning Commission (Member of North Central Association, Chicago)の認証(2012-13年(2019-20年まで7年間有効))。

#### <認証評価機関の評価項目例>

\*地域規模、全米規模、専門別など約80の非政府機関による認証

*Institutional Accreditation: An Overview*. 2010. The Higher Learning Commission (Member of North Central Association, Chicago) (医療、ビジネス、工学等の専門プログラムは、各専門団体による認証)

最新版はHPに有り。

<http://www.ncahlc.org/Information-for-Institutions/criteria-for-accreditation.html> (2013/04/

「第1基準(ミッション) 機関(institution)のミッションはクリアであり、公的な基準につながったものである。それは機関の運営を導くものである。(コア要素4中項目・11小項目)

第2基準(規範) 倫理と責任ある行為。機関は規範をもって行為し、その行為は倫理的であり、責任あるものである。(コア要素5中項目・6小項目)

第3基準(教育と学習：質、資源、学生支援)

コア要素(5項目)

3A. 機関の学位プログラムは高等教育にふさわしいものである。

1. 課程やプログラムは今日的であり、学位や資格授与にふさわしい学生による到達レベルを要求する。
2. 制度は学部、大学院、ポストバカロレア、資格の各プログラムの学修目標につながり、差異化する。
3. 略

3B. 機関は知的探求心の錬磨、その獲得、応用、幅広い学修とスキルの統合が教育プログラムに必須であることを示す。

1. 略
2. 機関は学部一般教育の要件の目的、内容、企図する学修アウトカムを明確にする。・・・
3. ～5. 略

3C. 機関は効果的で高度のプログラムと学生サービスに必要な教員と職員を持つ。

1. 機関は課程内外の教員の役割を果たしうるだけの十分な教員と職員を持つ。
2. ～6.

3D. 機関は、学生の学修と効果的な教育の支援を提供する。(1～5)

3E. 機関は、十全な教育環境に資するクレームを処理する。

第4基準 教育と学習：評価と改善

4A. 機関は教育プログラムの質の責任を明示する。(1～6)

4B. ～4C.

第5基準 資源、計画、機関の効率性

5A～5D

<Columbus State, Central Technical College の場合> →→ **別添・参考10**

## 4-2. ドイツ

### 4-2-1. 設置認可

#### (1) 失効予定の連邦高等教育大綱法第70条(機関の認可)

但し、非州立大学の認可のみ規定(州立は州の権限・州で規定)

「(1) 州法上の国(州)立大学でない教育機関は、州法上の詳細な規程に従い、以下の点が保証されるなら、国認可の大学としての地位を有することができる。

- 1 学修課程が第7条に言う目標に適合していること。
- 2 幾つかの副専門課程が当該機関単独でもしくは他の教育機関との連携で存在しているか、修了モデルとして予定されていること。・・・
- 3 入学志願者が対応する州立大学に編入学する条件を満たすこと。
- 4 専任教員が州立大学の当該活動に求められる任用条件を満たしていること。
- 5 大学の成員の学修課程編成への参加。・・・」

#### (2) NRW の高等教育法

##### 第1条(適用範囲)

「(1)本法はノルトライン・ヴェストファーレン州の大学に対して、第9章の(認可)基準に従い、州認可の大学(注:州立大学)と非州立大学の事業体に適用される。」(コメント:第9章は州立と非州立双方に適用される。)

##### 第72条(認可と認可の無効)

まず(1)で非州立機関の(しかし、殆ど事後設置されることがない州立と同等の基準)。

「(1) 州の担当部局に属さない教育機関は以下の点が保証されるなら総合大学もしくは専門大学として国によって認可される。」(連邦大綱法第70条にほぼ同じ)

1~9 (略)

「(2) 所管省による国の認可は、書面による申請を必要とする。認可は一定期限内に告示され、第1項の諸条件を満たすなら冊子にして公表される。

認可通知には、認可の対象となる大学の段階を含めた学修課程、大学の名称が確定される。

もし、大学がその後の学修課程の認証の合格を所管省に示すなら、当該認可は第1項の諸条件を満たしていればその後の学修課程にも及ぶものとする。・・・

(3) 大学が省によって一定期間内に合の採択を受けない場合、もしくは学修の事業が1年間休業状態である場合、当該認可は無効となる。・・・」

#### (3) 私立大学・専門大学の設置に関する解説書

*Leitfaden zur Gründung privater Univesrsitäten und Fachhochschulen*(§72, Hochschulgesetz) Ministerium für Innovation, Wissenschaft, Forschung und Tecnologie des NRW. 2008)設置認可の解説

##### I. 認可の3段階

第1段階:構想化段階

#### 法的最低基準の適格審査(予備審査)

- ・計画の妥当性 ・学校種・構想・理念 ・プロフィール ・管理・組織構造 ・教育課程(専門重点を含む基本課程;通常課程、遠隔課程、職業人課程、デュアル課程か) ・研究・開発の見通し ・地域連携・編入 ・大学人員の量と質(教授、学術助手、管理職員) ・財務諸表 ・質保証の措置

#### 第2段階:学修課程の認証評価(3段階)

- ・設置学修課程が州立大学の課程との同等性の審査
- ・人員数の説明陳述
- ・要件充足の説明
- ・学修課程の認証評価は、認証評価協議会(注:1998年設置)に委託される第三者機関への申請によって始まる。

#### 第3段階:申請段階

私立施設による所管省への大学認可の申請によって、申請段階が始まる(第72条、第2項)。

- ・第72条第1項の法的最低基準を満たしているかどうかの判定
- ・申請される教育課程の認証評価の有効期間は原則5年である。バッチェラ一課程は3年、修士課程は2年を下回ってははならない。

(\*注:2回目以降は7年間)

- ・(支払い手続きと規定)
- ・申請は入学許可の4ヶ月前までには終えられ、適時処理されねばならない。

#### II. 認証項目の詳細

(別途・申請フォーマット有り)

### 4-2-2. 認証評価

NRW 高等教育法第72条第2項にあるように、設置認可後のおもに課程の質評価、課程増設の際の認可条件。

#### 一 AQAS の認証評価申請書解説に見られる学修基準項目

*Leitfaden zur Erstellung eines Akkreditierungsantrag* (Agentur für Qualitätssicherung durch Akkreditierung von Studiengängen.2012.)

1998年以降、連邦レベルで Akkreditierungsrat(認証評議会)が設置され、バチェラー、マスターの課程の認証をいくつかの代理機関に委託している。Agentur für Qualitätssicherung durch Akkreditierung von Studiengängen(AQAS)、Akkreditierungsagentur für Studiengänge der Ingenieurwissenschaften, der Informatik, der naturwissenschaften und der Mathematik e.V. (ASIN)など分野別に10の代理機関が存在している。認証項目は、以下の通りである。

#### 1. 課程のプロフィールと目標

- ・目標(6項目)
- ・国政通用性(3項目) ・特別のプロフィールを持った課程(1項目) ・連携課程(4項目) ・入学条件(6項目) ・男女および機会均等(2項目)

#### 2. 教育の質とカリキュラム

- ・内容と水準(7項目) ・モジュールの記述(1項目) ・移動・編入の可能性(1項目)
- 3. 職業分野への方向付け
  - ・資格水準の高い就業活動の能力(2項目)
- 4. 課程の学習しやすさ
  - ・学習組織(3項目) ・連携課程の場合(1項目) ・情報・相談・指導(3項目) ・モジュール化とクレジットの授与 (5項目) ・試験・試験の組織(6項目) ・統計データの有無(3項目)
- 5. 人員・物的資源(8項目)
  - ・人的資源・リスト(等級職階、分野、氏名、課程での担当領域、赴任年月日、認証授業される職階、兼職)
- 6. 質保証(6項目)

#### 4-3. 韓国

##### 4-3-1. 設置認可(詳細略)：一般大学と同様の規程

- － 高等教育法第4条、高等教育法施行例第2条、大学設置・運営規程第2条に規定(寺田2013)
- － 産学連携上注目される規定：運営規程第2条の8項

「大学を設立・運営する者、または大学の長は産学協力による教育と研究等を促進するために必要な場合として次の各号のどの一つに当たる場合には産業体等が「産業教育振興と産学研協力促進に関する法律 施行令」第33条による事業種目の用途に限り大学の施設を利用することができる。この場合産業体等が利用できる校舎の面積は第4条第3項により算出された校舎面積の10%を超過できない。

1. 産業体等の資材と人力を大学の教育・研究、または学生たちの実習に共同に活用するようになる約定がある場合
2. 産業体等が大学に機材、または寄附金を寄附するという約定がある場合

##### 4-3-2. 認証評価

- － 一般大学は1982年から大学教育協議会内の大学評価認定委員会(国認定協会機関)の事項
- － 専門大学は、高等職業教育評価認証院(国認定の協会機関)が担当：5年間有効
- － 評価項目の詳細は、寺田(2013)参照
  - \*評価基準の3に「3.1 産学協力 3.2 就業支援活動 3.3 現場実習」が規定されている。

#### 5. 教員資格 ー取得学位と実務経験

##### 5-1. アメリカ

##### 5-1-1. 全米の一般的状況：Bureau of Labor Statistic (Governmental)

[http://www.bls.gov/ooh/Education-Training-and-Library/Postsecondary-teachers.htm#tab-4\(2013/04/17\)](http://www.bls.gov/ooh/Education-Training-and-Library/Postsecondary-teachers.htm#tab-4(2013/04/17))

How to become a Postsecondary Teacher

- ・4年制大学で働く後期中等教育教師はほとんどは各分野の Dr. degree を求められる。・・・
- ・2年制のカレッジやキャリア・専門学校は Mr. degree を持った者を採用する。しかしながら、より任期のある募集分野もあるので、このような場合は各機関はより選抜的になり、しばし

ば Ph.D.を持った応募者を選抜する。

- ・料理とか美容などのようなキャリア・専門教育(注：職業教育)科目を教える教員は、学士レベル以上の教育を求められることはない。その場合、学校はその教授分野の経験もしくは資格を有する者を求める。

#### 5-1-2. カリフォルニア州の Academic Senate California Community Colleges の科目別教員資格 *Minimum Qualifications for Faculty and Administrators in California Community Colleges, 2012.*

- ・修士学位科目：58 科目(会計、歴史、ビジネス、コンピュータ科学、環境学、工学、教育学、地理等)
- ・特殊学士もしくは準学士科目：1 科目(生命工学)
- ・学士+2 年の専門経験か準学士+6 年の専門経験の科目：143 科目(農業工学、建築、自動車工学、商業美術、電子工学、図書館技術、ホテルサービス、リハビリ技術、ロボット技術、靴修理、輸送、旅行サービス、溶接等)

[http://www.asccc.org/sites/default/files/Minimum\\_Qualifications\\_Handbook\\_for\\_2012-2014\\_\(MB2\)\\_020212.pdf](http://www.asccc.org/sites/default/files/Minimum_Qualifications_Handbook_for_2012-2014_(MB2)_020212.pdf)

### 5-2. ドイツ

#### 一 高等教育大綱法 2007 の第 44 条

「教授(女男)の任用条件は一般的服務条件とならび、原則として、

1. 大学学修課程の修了
2. 教育的適正
3. 通常、博士学位のレベル(質)が証明される学術研究の特に優れた能力もしくは芸術創作のとくに優れた能力
4. それらに加えて当該ポストの要件により、
  - a) 付加的な学術的業績
  - b) 付加的な芸術的業績
  - c) 多年の職業実践における学術的認識と方法の応用もしくは開発によるとくに優れた業績」

#### 一 2006 年 NRW 高等教育法第 36 条(大学教員の任用)：職階別の資格規定

1.~3.は連邦大綱法に同じ

「4. 総合大学の教授男女については、それらに加えて、もつばら、総合的に招聘過程の中で評価される付加的な学術的業績、ジュニアプロフェッサーの場合は Habilitation もしくは大学における学術助手(Mitarbeiterin/er)としての活動実績・・・

5. 専門大学の教授(女・男)の場合は、5 年間の職業実践活動、うち 3 年以上は大学外での当該専門に対応する 1 領域で従事した学術的認識と方法の応用と開発の実績は第 4 項にあたる付加的学術的実績にあたる。」

### 5-3. 韓国

#### 5-3-1. 高等教育法第 16 条の大学教員資格基準規定

職階別研究実績年数と教育経歴年数 (別表)



- ー スタートである助教職にあるように、「勤務しようとする学校と同等以上の学歴」(＝専門大学以上)
- ー 助教授以上の場合、研究年数が、3年、4年と求められるので、副教授以上は事実上博士学位が求められる。
- ー 実務経験は、我が国の国立大学教員の格付けの際の民間経験のカウントのように、最高30%まで割り引いて評価する。

### 5-3-2. 大田保健大学での具体的運用例

- ー 2000年頃までは、教授は修士以上だが、現在はほとんどDR.
- ー 専門科目系教員は、専門大学－4年制大学－実務経験－Mr.－Dr.というキャリアが多い。
- ー それを担保するために、専門課程の中に、教育養成科目を配置。→→ **別添・参考9(重)**

## 6. 新動向・課題

### 6-1. アメリカ

Zirkle, Ch./J. Popovich :Current Challenges and Issue in Postsecondary Vocational Education in the United States. Oct. 19, 2014, Tokyo.

- ー 約60%の就職口の資格は Associate degree を求めている。にもかかわらず、4年制を志向する高卒者・親が多くなっている。→→ 4年制への編入が困難。
- ー とくに、上級看護師、コンピューター専門士、法律助手、歯科衛生士、ペットテクニシャン、環境テクニシャン、心臓血管技術者(テクノロジスト)
- ー 平均年齢(29歳)が高く、フルタイム職を持つ(パートタイム)学生が多い。

などから、

- \* 継続教育、Aademic transfer、Technical career education、Distant education という複合的機能を果たすことがの難しさ。いずれ、カレッジ内での Bachelor 付与がかただいになるのではないかと ← ← 欧州標準との関係、Applied science はもちろん、Arts and Sciences2 にしても、編入システムはできあがっているが、大学は「2年分の財源喪失」と捉え、好んでいない。

### 6-2. ドイツ

\* ドイツモデルのアングロサクソン化への接近

- ー 職業教育を含むドイツ高等教育共通の課題は基礎科目・教養教育を組み込む必要がでてきたこと。
- ・専門大学が5Aタイプである以上、1999年以降のボローニャプロセス(欧州学位比較対照と質保証)に対応しつつある。:その基盤にある Framework for European Higher Education Area における short cycle (Associate), first cycle (Bachelor), second cycle (Master), Third cycle (Doctor)に伴う、例えば,Bachelor の場合、180(3年制)~240(4年制)credits のうち20~30%は基礎科学科目であることが求められる。→ 中等段階の職業教育とともに、すでに2006年以降欧州共通資格枠組み(EQF)に統合された。

- ・同様に、もう1つは、2007年から2016年に完成するギムナジウムの12年制化(後期中等教育の年限共通化)に伴う、教養教育の縮減への対応
  - ドイツ的専門課程圧縮の傾向の中で、実践性を残す努力
- － 他方、専門大学の場合、約3分2がデュアルシステム職業訓練修了者であるので、元々専門大学にとっては、「学術化」が基本戦略であり、実務性をことさら言う必要がなかった。
  - しかし、普通系の入学者や非デュアル卒社会人が増えるにつれ、本来の「実務性」が問題になり、1990年代後半以降「デュアル学修課程」が、一般大学ととくに専門大学で設置・拡大されてきた。学修学生数は約6万人。
  - ・ 学士+中等職業訓練コース=訓練統合的課程(3~5年) : 445 課程
  - ・ 学士+企業実習期コース=実践統合的課程(3年) : 508 課程

### 6-3. 韓国

- \* 専門大学の重点化(CHI, Wonsik. Present Status and New Policy Plan of Junior Colleges in Korea, Oct, 19, 2014, Tokyo)
- － 2008年以降の「教育力強化事業」の一環としての知識ベース・産業創造のコア専門人材の育成による世界的専門大学の創生
- － 具体的には、専門大学の3種別化を通じて世界レベルの専大100箇所構築
  - タイプⅠ : 1つの産業・職業分野への特殊化(自動車専大、税務専大など、70%以上の学生); グローバル専門大学。
  - タイプⅡ : 1つの専門分野とローカルな産業の混合専門化大学(ホテル・観光、教育・福祉、ITなど)
  - タイプⅢ : プログラムの専門化 : ベンチャービジネスなど、70%以上の専大で。
  - プラス : 生涯職業教育機能の保持。現職・失業・退職成人などのカリキュラム。
- － 欧州、ASEANの「共通職業能力評価システム」の構築作業と、各大学・カリキュラムの再編過程。

### 6-4. 中国

- SHI, Weiping : To Establishment a Modern TVET System: New Innovation of Higher Vocational Education in China. Oct. 19, 2014, Tokyo.
- \* 欧州モデルを採用し、職業技術学院・専科大学と4年制大学の一部を専門大学(Applied university)へ
- － 2014年6月に教育部が「現代的職業教育の促進(システム構築)に関する決定」を発令。2020年までに世界レベルの職業教育システムの確立。高等職業教育学生を1480万人に(現在の4倍)。農業、製造業、サービスビジネス、新戦略産業のスキル育成に焦点化。
- － 元々のプラン ; 優れた職業技術学院の専科大学・専門への昇格の促進と
- － 既設の4年制大学1200の内、半分の600を専門大学に再編提案(2014.5)。

- ー 結果として、欧州と同様のアカデミックトラックと職業・専門職トラック(中等職業教育ー職業技術学院ー専門大学ー大学院プログラムープロフェッショナル学位)の体系構築を目指す。

#### <主要参考資料>

##### B. 一覧表・制度法制比較

1. 中央教育審議会(2010.05.17) 今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(第二次建議報告書)p.175, 同(2009.06.17)諸外国の高等教育機関における職業教育について(キャリア教育・職業教育特別部会作業部会第7回)及び各国の高等教育法制における実務系・職業系高等教育機関の定義(同作業部会第7回の寺田委員提供資料)
2. 文部科学省高等教育局(2014.10.07) 実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化に関する有識者会議(第1回)参考資料4の6 諸外国の職業教育(p.17)

##### C. 各国概要報告書

1. みずほ情報総研(2012.03.00) 平成23年度 生涯学習施策に関する調査研究 諸外国における後期中等教育後の教育機関における職業教育の現状に関する調査研究報告書(韓国、フィンランド、ドイツ、フランス、米国)

##### D. 各国質保証システム法制等の翻訳

1. 独立行政法人 大学評価・学位授与機構訳(2010) 諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要 アメリカ合衆国. 2. 同機構訳・韓国大学教育協議会大学評価院(2012) 韓国高等教育質保証 インフォメーション・パッケージ. 3. 同(2013)中国高等教育質保証インフォメーション・パッケージ.

##### E. 寺田関連の論稿

1. 寺田盛紀・李明薫・Demes, Helmut・Popovich, Jacob(2014) 高等職業教育の設置認可・認証評価のシステムーアメリカ・ドイツ・韓国の事例の意義ー, 職業とキャリアの教育学(名古屋大学大学院教育発達科学研究科)第20号, 1-20.
2. 寺田盛紀(2012) 職業教育・専門教育の国際比較の視点からみた日本の人材育成の現状と課題 樋口義雄・財務省財務総合政策研究所編 国際比較から見た日本の人材育成, 日本経済評論社, 131-152.
3. 寺田盛紀(2011) 日本の職業教育ー比較と移行の視点に基づく職業教育学ー, 晃洋書房, 第8章 高等教育における職業教育ー日本・アメリカ・ドイツー, 124-145.
4. 寺田盛紀(2003) 新版 ドイツの職業教育・キャリア教育ーデュアルシステムの伝統と変容ー, 大学教育出版社, 第11章 専門大学におけるデュアル課程の展開ードイツ職業教育の高等教育化の諸相ー, 190-211.

参考 1

アメリカ高等教育における4年制と2年制の量的側面

Table 278. Higher Education—Institutions and Enrollment 1980 to 2009

[As of fall (686 represents 686,000). Covers universities, colleges, professional schools, junior and teachers' colleges, both publicly and privately controlled, regular session. Includes estimates for institutions not reporting. See also Appendix III]

Item	Unit	1980	1990	2000	2005	2006	2007	2008	2009
<b>機関数</b>									
ALL INSTITUTIONS									
Number of institutions <sup>1</sup>	Number	3,231	3,559	4,182	4,276	4,314	4,352	4,409	4,495
4-year	Number	1,957	2,141	2,450	2,582	2,629	2,675	2,719	2,774
2-year	Number	1,274	1,418	1,732	1,694	1,685	1,677	1,690	1,721
Instructional staff— (lecturer or above) <sup>2</sup>	1,000	686	817	(NA)	1,290	(NA)	1,371	(NA)	1,439
Percent full-time	Percent	66	61	(NA)	52	(NA)	51	(NA)	51
Total enrollment <sup>3,4</sup>	1,000	12,097	13,819	15,312	17,487	17,759	18,248	19,103	20,428
Male	1,000	5,874	6,284	6,722	7,456	7,575	7,816	8,189	8,770
Female	1,000	6,223	7,535	8,591	10,032	10,184	10,432	10,914	11,658
4-year institutions	1,000	7,571	8,579	9,364	10,999	11,240	11,630	12,131	12,906
2-year institutions	1,000	4,526	5,240	5,948	6,488	6,519	6,618	6,971	7,521
Full-time	1,000	7,098	7,821	9,010	10,797	10,957	11,270	11,748	12,723
Part-time	1,000	4,999	5,998	6,303	6,690	6,802	6,978	7,355	7,705
Public	1,000	9,457	10,845	11,753	13,022	13,180	13,491	13,972	14,811
Private	1,000	2,640	2,974	3,560	4,466	4,579	4,757	5,131	5,617
Not-for-profit	1,000	2,528	2,760	3,109	3,455	3,513	3,571	3,662	3,765
For-profit	1,000	112	213	450	1,011	1,066	1,186	1,469	1,852
Undergraduate <sup>4</sup>	1,000	10,475	11,959	13,155	14,964	15,184	15,604	16,366	17,565
Men	1,000	5,000	5,380	5,778	6,409	6,513	6,728	7,067	7,595
Women	1,000	5,475	6,579	7,377	8,555	8,671	8,876	9,299	9,970
First-time freshmen	1,000	2,588	2,257	2,428	2,657	2,707	2,776	3,025	3,210
First professional	1,000	278	273	307	337	343	351	(NA)	(NA)
Men	1,000	199	167	164	170	174	178	(NA)	(NA)
Women	1,000	78	107	143	167	170	173	(NA)	(NA)
Graduate <sup>4</sup>	1,000	1,343	1,586	1,850	2,186	2,231	2,294	(NA)	(NA)
Men	1,000	675	737	780	877	887	910	(NA)	(NA)
Women	1,000	670	849	1,071	1,309	1,344	1,383	(NA)	(NA)
<b>2年制</b>									
2-YEAR INSTITUTIONS									
Number of institutions <sup>1</sup>	Number	1,274	1,418	1,732	1,694	1,685	1,677	1,690	1,721
Public	Number	945	972	1,076	1,053	1,045	1,032	1,024	1,000 ヶ所
Private	Number	329	446	656	641	640	645	666	721 ヶ所
Instructional staff— (lecturer or above) <sup>2</sup>	1,000	192	(NA)	(NA)	373	(NA)	381	(NA)	401
Enrollment <sup>3,4</sup>	1,000	4,526	5,240	5,948	6,488	6,519	6,618	6,971	7,521 千人
Public	1,000	4,329	4,996	5,697	6,184	6,225	6,324	6,640	7,101
Private	1,000	198	244	251	304	293	294	331	420
Male	1,000	2,047	2,233	2,559	2,680	2,705	2,771	2,936	3,197
Female	1,000	2,479	3,007	3,390	3,808	3,814	3,847	4,035	4,325
<b>4年制</b>									
4-YEAR INSTITUTIONS									
Number of institutions <sup>1</sup>	Number	1,957	2,141	2,450	2,582	2,629	2,675	2,719	2,774
Public	Number	552	595	622	640	643	653	652	672
Private	Number	1,405	1,546	1,828	1,942	1,986	2,022	2,067	2,102
Instructional staff— (lecturer or above) <sup>2</sup>	1,000	494	(NA)	(NA)	917	(NA)	991	(NA)	1,038
Enrollment <sup>3,4</sup>	1,000	7,571	8,579	9,364	10,999	11,240	11,630	12,131	12,906 千人
Public	1,000	5,129	5,848	6,055	6,838	6,955	7,167	7,332	7,709
Private	1,000	2,442	2,730	3,308	4,162	4,285	4,464	4,800	5,197
Male	1,000	3,827	4,051	4,163	4,776	4,870	5,045	5,253	5,573
Female	1,000	3,743	4,527	5,201	6,224	6,370	6,585	6,878	7,333

Higher Education Data Center

Number of Institutions

	2003-04	2004-05	2005-06	2006-07	2007-08	2008-09	2009-10	2010-11	2011-12	2012-13	12-13	% change 03-04 to
Public/4-year	697	592	591	698	707	705	730	734	739	746	7.0	
Public/2-year	1,219	1,194	1,196	1,203	1,180	1,171	1,147	1,128	1,117	1,087	-10.8	
Private/4-year	1,675	1,639	1,612	1,621	1,617	1,611	1,656	1,649	1,660	1,665	-0.6	
Private/2-year	266	246	229	226	198	195	191	185	197	199	-25.9	
For-profit/4-year										801		
For-profit/2-year										1,063		
For-profit/less-than-2-year										1,786		
Total	3,857	3,771	3,728	3,748	3,702	3,682	3,724	3,660	3,726	3,557	90.7	

## 参考2

## ドイツ大学・専門大学における教職員・学生数及び分野特化状況

2 | 4

行政専門大除く

		Hochschulen ohne Verw.-FH	2010	2011	2012	2013	2014
教授資格	Habilitationen		1.755	1.563	1.646	1.567	1.627
平均取得年齢	Durchschnittliches Habilitationsalter		40,8	41,0	40,9	41,1	.
<b>大学</b>	Personal an Universitäten   <sup>1</sup>   <sup>2</sup>		310.458	313.374	317.640	324.627	.
教授	Professoren		23.179	23.823	24.064	24.472	.
他	Sonstiges wissenschaftliches Personal		93.182	93.716	96.450	100.455	.
事務職	Nichtwissenschaftliches Personal		194.097	195.836	197.126	199.701	.
<b>専門大学</b>	Personal an Fachhochschulen   <sup>1</sup>   <sup>3</sup>		47.603	49.632	52.175	54.540	.
教授	Professoren		15.096	15.696	16.294	16.710	.
他	Sonstiges wissenschaftliches Personal		13.895	14.658	15.635	16.745	.
事務職	Nichtwissenschaftliches Personal		18.613	19.277	20.246	21.086	.

|<sup>1</sup> In Vollzeitäquivalenten, ohne Drittmittel. - |<sup>2</sup> Einschl. Pädagogische, Theologische und Kunsthochschulen. - |<sup>3</sup> Allgemeine Fachhochschulen einschl. der Dualen Hochschule Baden-Württemberg; ohne Verwaltungsfachhochschulen.

## ※分野別学生数(特化状況)

福祉、特別支援のほぼ全て

主な専門群	Ausgewählte Fächergruppen	Sprach- und Kulturwissenschaften	Rechts-, Wirtschafts-, Sozialwiss.	Mathematik, Naturwiss.	Humanmedizin, Gesundheitswiss.	Ingenieurwissenschaften
	Hochschulen ohne Verw.-FH					
新学修者	Studienanfänger 1. HS (2013)	85.287	158.403	87.161	24.916	109.954
総学生数	Studierende (2013)	491.327	764.057	472.677	147.764	528.420
外国人	Ausländische Studierende (2013)	50.596	79.283	53.391	14.458	79.745
卒業生	Abschlüsse (2013)	78.717	130.126	74.172	25.657	85.094
<b>大学</b>	an Universitäten   <sup>1</sup>	74.822	66.600	60.486	21.044	37.789
学士	darunter Bachelorabschlüsse   <sup>2</sup>	25.566	28.391	20.899	744	14.921
修士	darunter Masterabschlüsse   <sup>3</sup>	9.358	16.594	12.261	1.221	9.336
教職	darunter Lehramt   <sup>4</sup>	25.999	2.521	8.193	201	520
<b>専門大学</b>	an Fachhochschulen	3.895	73.156	13.772	4.613	47.305
学士	darunter Bachelorabschlüsse   <sup>2</sup>	3.190	52.138	10.162	3.630	32.888
修士	darunter Masterabschlüsse   <sup>3</sup>	535	10.272	2.822	586	9.533
博士取得者	Promotionen (2013)	2.997	3.746	9.560	7.003	3.119
教授資格取得者	Habilitationen (2013)	269	140	243	789	68
教員・職員総数	Personal (VZÄ ohne Drittm., 2013)	23.817	30.652	40.719	116.612	36.484
教授	Professoren	5.763	9.677	8.214	3.235	9.148
他	Sonstiges wissenschaftliches Personal	14.492	16.511	18.348	36.365	15.456
事務職	Nichtwissenschaftliches Personal	3.562	4.465	14.158	77.011	11.880
	Stud. pro wiss. Pers. (2013)   <sup>5</sup>	24,3	29,2	17,8	3,7	21,5
	Studierende pro Prof. (2013)   <sup>6</sup>	85,3	79,0	57,5	45,7	57,8
	Erfolgsquoten (2013)   <sup>7</sup>	77,4	79,4	68,4	93,1	72,9
	Drittmittel/Prof. in Euro (2012)   <sup>8</sup>	107.400	60.230	248.570	550.460	184.030

|<sup>1</sup> Einschl. Pädagogische, Theologische und Kunsthochschulen. - |<sup>2</sup> Ohne Lehramts-Bachelor. - |<sup>3</sup> Ohne Lehramts-Master. - |<sup>4</sup> Einschl. Lehramts-Bachelor und Lehramts-Master. - |<sup>5</sup> Studierende pro wissenschaftlichem Personal in Vollzeitäquivalenten; diese Relation betrug 2012 über alle Fächergruppen 16,3. - |<sup>6</sup> Diese Relation betrug über alle Fächergruppen 62,7. - |<sup>7</sup> Einschl. Verw.-FH; prozentualer Anteil der Absolvent(inn)en, die ihr Studium bis 2013 erfolgreich abschlossen, an den Studienanfänger(inn)en des Studienjahrs 2005. Dieser betrug über alle Fächergruppen 76,9 %. - |<sup>8</sup> Diese Relation betrug 2012 über alle Fächergruppen 167.480 Euro.

経済、社会系に特化し、1.8倍、応用工学系も2.2倍

参考3

1997年卒業者の10年後のポジションに関する大学種間比較

Fachrichtung	管理職員			管理職能付職員			管理職能無職員			有資格職員			自由業・自営			公務員		
	Leitende Angestellte			Wiss. Angestellte mit Leitungsfunktion			Wiss. Angestellte ohne Leitungsfunktion			Qualifizierte Angestellte			Freie Berufe, Selbständige			Beamte		
	97.1	97.2	97.3	97.1	97.2	97.3	97.1	97.2	97.3	97.1	97.2	97.3	97.1	97.2	97.3	97.1	97.2	97.3
Fachhochschulabschluss																		
Agrar, Ernährungswissenschaften	18	13	19	19	17	9	14	24	20	22	32	26	20	9	20	0	3	4
Architektur, Raumplanung	5	7	9	13	14	19	26	30	19	19	22	19	31	18	20	3	4	7
Bauingenieur-, Vermessungswesen	6	11	17	23	35	26	42	19	14	19	24	23	4	6	13	3	5	6
Elektrotechnik	3	8	15	14	29	28	59	43	33	15	16	19	3	2	3	0	1	1
Maschinenbau, Verfahrenstechnik	3	9	15	20	27	25	46	37	30	21	19	19	5	4	8	1	2	2
Wirtschaftsingenieurwesen <sup>1)</sup>	10	23	-	16	15	-	42	33	-	27	25	-	4	5	-	0	0	-
Informatik	3	4	8	18	27	28	60	48	34	10	12	10	7	10	18	0	0	0
Wirtschaftswissenschaften	6	13	29	13	22	16	38	27	21	35	26	18	5	9	14	0	1	0
Sozialwesen	2	6	11	10	18	13	45	39	30	31	26	29	6	8	10	2	2	4
Fachhochschulabschluss insg. <sup>2)</sup>	5	9	16	16	24	21	43	34	26	24	21	20	8	8	12	1	2	2
Universitätabschluss																		
Agrar, Ernährungswissenschaften	5	8	21	11	21	17	26	32	17	23	17	16	21	13	21	5	3	3
Architektur, Raumplanung	2	4	10	14	26	17	39	25	11	15	6	14	29	27	37	1	10	5
Bauingenieur-, Vermessungswesen	5	4	9	15	29	31	50	29	22	13	10	7	6	17	20	9	11	12
Elektrotechnik	1	5	14	8	27	33	77	49	30	5	8	10	6	8	10	3	2	3
Maschinenbau, Verfahrenstechnik	2	11	24	20	36	35	64	40	25	10	8	9	2	4	5	0	1	2
Wirtschaftsingenieurwesen	2	24	40	18	37	28	59	22	13	16	11	4	4	5	15	0	0	0
Physik	1	6	15	9	30	35	76	51	33	6	7	4	6	4	8	1	1	5
Biologie	0	5	8	4	29	32	72	39	29	6	8	8	7	2	6	1	7	10
Chemie	2	8	12	10	34	53	82	51	24	1	4	4	3	1	3	1	2	3
Pharmazie, Lebensmittelchemie	16	15	22	26	32	23	48	29	20	6	6	6	0	18	26	0	0	2
Mathematik	3	4	12	9	32	31	72	53	37	9	4	11	4	2	4	1	4	5
Informatik	2	4	9	15	33	32	71	49	40	9	7	8	1	6	9	0	1	3
Humanmedizin	0	2	6	3	19	27	84	66	34	9	6	2	1	4	30	1	2	0
Psychologie	2	6	13	12	24	23	54	49	28	6	8	9	22	11	26	0	3	0
Pädagogik	4	7	13	19	20	16	24	33	28	21	25	20	20	2	11	4	9	12
Sprach- und Kulturwissenschaften	5	11	14	18	20	17	27	30	17	15	6	8	23	7	15	9	26	27
Rechtswissenschaft	1	6	12	1	10	10	8	29	19	1	12	12	2	21	25	85	22	23
Wirtschaftswissenschaften	5	19	29	11	26	20	51	33	20	24	14	15	4	6	11	2	3	4
Lehramt Primarstufe, Sonderschule	0	0	2	1	4	3	3	14	9	2	6	2	4	3	5	85	71	79
Lehramt Realschule, Sek. I	0	2	0	4	6	5	3	12	6	3	5	5	4	0	2	83	70	82
Lehramt Gymnasium, Berufsschule	1	1	4	3	4	4	9	22	11	4	4	3	9	6	4	69	62	75
Magister	9	11	10	17	17	32	26	18	20	21	17	22	19	28	1	2	5	5
Universitätabschluss insg. <sup>2)</sup>	3	7	13	9	19	19	42	34	21	11	10	9	9	10	17	23	17	20

Prüfungsjahrgang 1997. 1. Befragung 1 Jahr, 2. Befragung 5 Jahre, 3. Befragung 10 Jahre nach dem Examen

1) wegen zu geringer Fallzahlen für die Befragungswelle 1997.3 nicht dokumentiert

2) inkl. sonstiger, nicht ausgewiesener Fachrichtungen

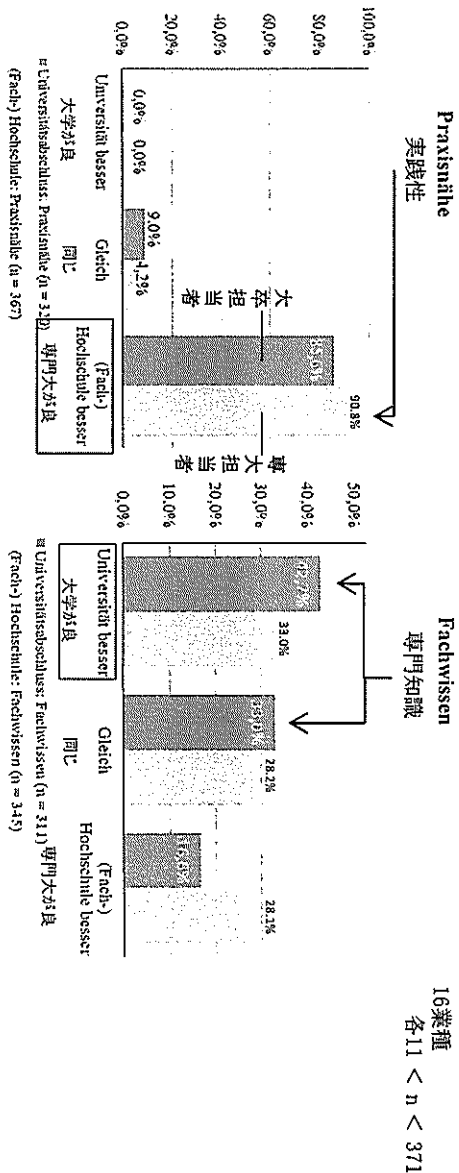
※ N=	FH	97.1	97.2	97.3
	UNI	2,577	1,655	1,443
		7,005	4,565	4,034

輩出率からみると、専門大学は民間企業管理職と資格職に、一般大学は公務・教員・専門職に特化

企業側の能力特性の評価

回答者の学歴別 (平均45.5歳の管理職)

※ニコールベンルク(407)、郊外(611)



16業種 各11 < n < 371

参考4

韓国の専門大学における専攻深化（学士）課程の設置例

（年限・定員・昼夜別・職務経験資格）

大学名	専攻学科名	2015 開設現況(2015.4.23)						始めの年
		(勤務経験あり)専攻深化課程			(勤務経験なし)専攻深化課程			
		授業年限	昼夜	募集定員	授業年限	昼夜	募集定員	
小計				15			90	
大田科学技術大学校	看護学科				1	夜	40	2014(変換)
	幼児教育学科				1	夜	30	2014(変換)
小計							70	
大田保健大学校	臨床病理学科				1	夜	30	2012
	放射線学科				1	夜	30	2012
	歯科技工学科				1	夜	25	2012
	歯科衛生学科				1	夜	25	2012
	物理療法学科				1	夜	30	2012
	眼鏡光学科				1	夜	20	2013
	応急救助学科				1	夜	30	2013
	作業治療学科				1	夜	20	2012
	看護学科				1	夜	30	2012
	幼児教育学科				1	夜	20	2012
	行政学科				1	夜	25	新規
小計							285	
東岡大学校	眼鏡光学科	1	昼	20				
小計				20				
東南保健大学校	幼児教育学科				1	夜	30	2013
	物理療法学科				1	夜	30	2014(変換)
	放射線学科				1	夜	30	2013
	臨床病理学科	1	夜	25	1	夜	30	2012
	看護学科	1	夜	40	1	夜	40	2012
	歯科技工学科				1	夜	30	2013
	歯科衛生学科				1	夜	30	2013
小計				65			220	
東ソウル大学校	産業デザイン学科				2	夜	20	2013
	時計ジュエリー学科				2	夜	20	2013
	ホテル観光経営学科				2	夜	20	2014
	レジャースポーツ学科				2	夜	20	2014
小計							80	
東亞放送芸術大学校	放送芸術融合学科				1	昼	25	変換
	実用音楽学科				1	昼	30	2013
	演技芸術学科				1	昼	25	2014(変換)
	コンテンツ制作学科				1	昼	60	2014
	放送報道制作学科				1	昼	20	2014
	音響制作学科	1	昼	15				新規
小計				15			160	
東亜人材大学校	社会福祉福祉学科	2	昼	30	2	夜	20	2014
小計				30			20	
東洋未来大学校 (工業専門大学校)	機械工学科				2	夜	25	2012
	機械設計工学科				2	夜	25	2012
	自動化工学科				1	夜	40	2012
	電気工学科				2	夜	15	2012
	情報電子工学科				2	夜	15	2012
	情報通信工学科				1	夜	25	2012
	コンピューターソフトウェア工学科				1	夜	25	2012
	経営学科				2	夜	25	2012
	建築学科				1	夜	25	新規
小計							220	
東元科学技術大学校	機械工学科	2	夜	20				
	幼児教育学科				1	夜	20	新規
	社会福祉学科				2	夜	30	新規
小計				20			50	
東元大学校	児童保育福祉学科	2	夜	20				
	社会福祉学科				2	夜	20	2012
	ビューティーデザイン学科	2	夜	15				
	保健運動管理学科				2	夜	20	2014(変換)
	建築学科				1	夜	15	2014
	児童文献情報学科				2	夜	15	2014
	資産管理学科				2	夜	20	2014
	室内建築学科				1	夜	15	新規
小計				35			105	
東義科学大学校	物理療法学科			1,641	1	夜	20	2013

韓国全体

76課程

489課程 11,094人

# 参考5

韓国大田保健大学開設学科・定員・進路(定員は2015年,進路は2014年)

学科名	昼夜別	課程別	年限	定員	卒業者数		就職者中健康身体就職		進学者		入学者		その他		不詳		
					男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
看護科(0028787)	昼間	一般課程			4	25	2	19	77.8	0	1	0	2	4	0	0	
看護学科(0050516)	夜間	学士学位専攻深化	1	30	3	26	2	24	89.7	0	0	0	1	2	0	0	
看護学科(4年制)(0045311)	昼間	一般課程	4	90	7	33	3	19	59.5	0	0	1	3	12	0	0	
経営情報科(0028390)	昼間	一般課程	2	60	21	24	14	9	54.8	0	1	2	5	14	0	0	
貴金属宝石デザイン科(0056942)	昼間	一般課程	2	30	14	34	6	10	51.4	0	5	2	5	13	0	0	
金融保険科(0052401) 企業設置	昼間	一般課程	2	60	20	37	10	19	59.2	1	2	0	9	11	0	0	
老人保健福祉科(0034336)	昼間	一般課程	3	80	9	59	3	47	82	3	2	0	3	8	0	0	
老人保健福祉科(0038670)	夜間	一般課程			10	25	5	12	56.7	1	2	0	3	10	0	0	
マーケティング管理科(0038646)	昼間	一般課程	2	80	27	42	13	21	51.5	1	2	0	13	19	0	0	
文化財科(0205634)	昼間	一般課程			2	14	1	2	37.3	1	4	0	0	8	0	0	
物理療法科(0056138)	昼間	一般課程	3	80	31	62	18	45	82.9	3	6	5	4	9	0	0	
物理療法学科(0034123)	夜間	学士学位専攻深化	1	30	11	20	11	19	96.8	0	0	0	0	1	0	0	
バイオ情報科(0025000)	昼間	一般課程	2	30	19	16	12	11	69.7	1	1	0	6	4	0	0	
放射線科(0055268)	昼間	一般課程	3	120	71	54	36	25	54.5	4	6	0	29	22	0	0	
放射線学科(0059626)	夜間	学士学位専攻深化	1	30	21	8	17	7	82.8	0	0	0	4	1	0	0	
放射線作科(0025284)	昼間	一般課程	2	30	17	15	8	9	53.1	0	0	0	9	6	0	0	
保健医療情報科(0205580)	昼間	一般課程	2	40	13	58	7	37	65.7	2	1	0	4	10	0	0	
食品栄養科(0059453)	昼間	一般課程	3	40	12	45	6	27	60	0	0	0	6	16	0	0	
眼視光学科(0053909)	昼間	一般課程	3	64	34	26	25	17	73.7	1	2	0	8	7	0	0	
眼視光学科(0185910)	夜間	学士学位専攻深化	1	20	8	12	6	10	84.2	0	0	0	1	2	0	0	
幼児教育科(0071178)	昼間	一般課程	3	64	1	62	1	54	88.7	0	0	0	0	7	0	0	
幼児教育学科(0033962)	夜間	学士学位専攻深化	1	20	0	20	0	17	89.5	0	0	0	0	2	0	0	
救急救助科(0050967)	昼間	一般課程	3	64	49	19	14	11	38.5	2	0	0	32	8	0	0	
救急救助学科(0117510)	夜間	学士学位専攻深化	1	30	14	15	11	11	75.9	0	0	0	3	4	0	0	
医務行政科(0205641)	昼間	一般課程	2	40	10	65	7	47	74	0	0	0	3	16	0	0	
臨床病理科(0040305)	昼間	一般課程	3	80	18	66	12	31	58.9	2	6	0	4	26	0	0	
臨床病理科(0047094)	夜間	一般課程	3	40	9	32	4	19	62.2	0	3	0	4	10	0	0	
臨床病理学科(0049214)	夜間	学士学位専攻深化	1	30	10	20	8	15	70.2	1	0	0	1	5	0	0	
作業療法科(0034613)	昼間	一般課程	3	40	10	34	6	26	76.2	0	0	0	3	7	0	0	
作業療法学科(0046795)	夜間	学士学位専攻深化	1	20	6	13	5	11	84.2	0	0	0	1	2	0	0	
舞踊指導科(0034134)	昼間	一般課程	2	40	29	19	21	8	67.4	0	2	0	7	7	0	0	
伝統調理学科(0049374)	昼間	一般課程	2	40	25	35	15	19	60.7	1	0	1	8	14	0	0	
歯科技工科(0031723)	夜間	一般課程	3	40	22	9	11	6	67.9	2	0	1	7	2	0	0	
歯科技工科(0031722)	昼間	一般課程	3	120	53	40	41	22	60.7	3	2	0	6	10	0	0	
歯科技工学科(0036914)	夜間	学士学位専攻深化	1	25	13	7	8	5	68.4	1	0	0	4	2	0	0	
歯科衛生科(0052512)	昼間	一般課程	3	121	0	144	0	115	83.9	0	3	0	0	22	0	0	
歯科衛生学科(0056951)	夜間	学士学位専攻深化	1	25	0	28	0	23	82.1	0	0	0	0	5	0	0	
コンピューター情報通信科(00341)	昼間	一般課程	3	80	36	11	28	5	70.2	0	0	0	8	6	0	0	
ファッションコーディネート・カウンスラー科(004)	昼間	一般課程	2	30	7	38	5	22	64.3	0	2	0	2	13	0	0	
皮膚美容科(0205572)	昼間	一般課程	2	80	5	73	4	47	70.8	0	0	0	1	20	0	0	
化粧品化学科(0205579)	昼間	一般課程	3	80	4	50	4	41	88.2	0	1	0	0	6	0	0	
環境保健科(0205639)	昼間	一般課程	3	64	28	27	24	17	78.8	1	2	0	3	8	0	0	
				一般(専門学上)課程 28 専攻深化(学上)課程 11	1,980席 285席	707	1,462	454	961	70.0	31 4.4%	56	12	212	390	0	0



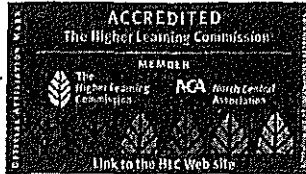
## 参考6

# アメリカ・オハイオ・州立コミュニティーカレッジの提供プログラムと機関認証・プログラム認証の例

## Accreditation/Certification/Approval

### ①北中部地区機関認証

Columbus State Community College is accredited by The Higher Learning Commission, Member-North Central Assn. (NCA), 230 S. LaSalle St., Suite 7-500, Chicago, IL 60604-1413, (312) 263-0456 or (800) 621-7440, www.ncahlc.org.



Bedford, TX 76021-4244  
(817) 283-2835

Many of Columbus State's degree programs are accredited by professional associations and agencies as listed below.

### 7. Automotive Technology 自動車

Automotive Technology and Ford ASSET Program  
National Institute for Automotive Service Excellence (ASE)  
National Automotive Technicians Education Foundation (NATEF)  
101 Blue Seal Drive, Suite 101  
Leesburg, VA 20175  
(703) 669-6650

### ②専門機関によるプログラム認証

#### 1. Allied Health 医療関係

Dental Hygiene 歯科衛生  
American Dental Association Commission on Dental Accreditation  
211 East Chicago Avenue  
Chicago, IL 60611-2678  
(312) 440-2915

#### 2. Health Information Management Technology 医療情報管理

Commission on Accreditation for Health Informatics and Information Management Education (CAHIIM)  
233 N. Michigan Avenue, Suite 2150  
Chicago, IL 60601-5800  
(312) 233-1100

#### 3. Medical Assisting 医療助手

Commission on Accreditation of Allied Health Education Programs (CAAHEP)  
1361 Park Street  
Clearwater, FL 33756  
(727) 210-2350

#### 4. Medical Laboratory Technology 医療実験

National Accrediting Agency for Clinical Laboratory Sciences (NAACLS)  
5600 N. River Road, Suite 720  
Rosemont, IL 60018-5119  
(713) 714-8880

#### 5. Multi-Competency Health (Phlebotomy) 複合医療

National Accrediting Agency for Clinical Laboratory Sciences (NAACLS)  
5600 N. River Road, Suite 720  
Rosemont, IL 60018-5119  
(713) 714-8880

#### 6. Respiratory Care 呼吸ケア

Commission on Accreditation for Respiratory Care (CoARC)  
1248 Harwood Road

#### 8. Business ビジネス

Accounting and Finance  
Business Management  
Human Resources Management Technology  
Business Office Applications  
Association of Collegiate Business Schools and Programs (ACBSP)  
7007 College Boulevard, Suite 420  
Overland Park, KS 66211  
(913) 339-9356

⇒ 別添資料  
カリキュラム

#### 9. Construction Science 建築

Construction Management 建築マネジメント  
American Council of Construction Education (ACCE)  
1717 North Loop 1604 East, Suite 320  
San Antonio, TX 78232-1570  
(210) 495-6161  
ace@acce-hq.org

#### Landscape Design and Management 屋外デザイン

Professional Landscape Network (PLANET)  
150 Elden Street, Suite 270  
Herndon, VA 20170  
(703) 736-9666

#### 10. Engineering Technologies エンジニアリング

Aviation Maintenance Technology 航空保守  
Federal Aviation Administration  
2780 Airport Drive, Suite 300  
Columbus, OH 43219  
(614) 255-3120

#### Electronic Engineering Technology 電子

ABET, Inc.  
111 Market Place, Suite 1050  
Baltimore, MD 21202  
(410) 347-7700

#### 11. Health, Dental and Veterinary Technology 医療歯科獣医

Veterinary Technology 獣医技術  
American Veterinary Medical Association  
Committee on Veterinary Technician Education and

Columbus State Community College

Plan of Study

Business Programs  
Accounting

CAREER AND TECHNICAL PROGRAMS

Effective Autumn Semester 2012

Name \_\_\_\_\_  
Student # \_\_\_\_\_  
Date Entered \_\_\_\_\_  
Advisor \_\_\_\_\_

SUMMER SEMESTER		G/T/B	CR
ACCT 2250	Intermediate Accounting I	T	4
ACCT 2211	Cost Accounting	T	3
XXXX XXXX	N/P (Select from List on back)	G	4
TOTAL			11

SECOND SEMESTER		G/T/B	CR
ACCT 1212	Managerial Accounting	T	3
ACCT 1400	Accounting Systems	T	3
STAT 1350	Elementary Statistics	G	3
FMGT 2201	Corporate Finance	B	3
LEGL 2064	Legal Environment of Business	B	3
TOTAL			15

FIRST SEMESTER		G/T/B	CR
ACCT 1211	Financial Accounting	T	3
ENGL 1100	Composition I	G	3
ECON 2200	Principles of Microeconomics	B	3
BMGT 1111	Management	B	3
COLS 1100	College Success Seminar	B	1
ROA 1102	Excel I	B	1
TOTAL			14

FOURTH SEMESTER		G/T/B	CR
ACCT 2241	Auditing	T	4
ACCT XXXX	Technical Elective	T	3
ACCT 2901	Accounting Practicum	T	3
ACCT xxxx	Technical Elective	T	3
BMGT 2299	Case Studies Strategic Management	B	3
TOTAL			16

THIRD SEMESTER		G/T/B	CR
ACCT 2252	Intermediate Accounting II	T	4
ACCT 2232	Federal Taxation I	T	3
SOC 1101	Sociology	G	3
XXXX XXXX A/H	(Select from list on back)	G	3
TOTAL			13

TECHNICAL ELECTIVES		CR
ACCT 2231	State & Local Taxation	3
ACCT 2236	Federal Taxation II	3
ACCT 2239	Advanced Taxation	3
ACCT 2240	Tax Practice	3
ACCT 2258	Advanced Accounting	3
ACCT 2266	Public Administration/Fund Accounting	3
ACCT 2275	Fraud Examination	3
ACCT 2281	Sarbanes Oxley	3
ACCT 2291	Internal Auditing	3
ACCT 2293	Operational Auditing and Special Topics	3

専門学士の場合  
① 一般+専門基礎 > 30  
職業科目 > 31 → ごく一部の  
大学・学部  
で入学可  
[ → Associate of Arts/Science  
(4大編入)へは、さらに62単位 ]  
② Practicumが必ず配置

GRADUATION REQUIREMENTS	
G = General Education	
B = Basic Education	
T = Technical Education	
Total General Ed.	16
Total Basic	17
Total Non-Technical	33
Total Tech. Ed.	36
TOTAL CREDITS	69

参考8

ドイツの私立FOM(Fachhochschule Ökonomie und Management)グループのゲッチンゲン校の一般マネジメントコースのプログラム

General Management | Bachelor of Science | 6 Semester

<p><b>Modul 1: Analytische Methoden 分析方法</b> Mikroökonomik, Mathematik —ミクロ経済・数学—</p> <p><b>Modul 2: Grundlagen BWL 基礎経営学</b> Einführung BWL, Gründungsmanagement, Internationaler Schwerpunkt I, Methodisches Arbeiten I —マネジメント基礎—</p>	<p><b>Modul 3: Grundlagen des Rechnungswesens 会計基礎</b> Wirtschaftsinformatik I, Buchführung und Abschluss, Kosten- und Leistungsrechnung, Methodisches Arbeiten II —簿記・コスト—</p> <p><b>Modul 4: Language and Soft Skills 1 言語・ソフトスキル I</b> Englisch I, 2, Fremdsprache I, Soft Skills I, Social Skills I —英語・社会的—</p>	<p>01</p>																				
<p><b>Modul 5: Rechtliche Grundlagen und Bewertung 法律基礎</b> Wirtschafts- und Steuerrecht, Handelsrechtliche Bewertung —商法—</p> <p><b>Modul 6: International Business Analysis 国際ビジネス</b> Makroökonomik, Wirtschaftsinformatik II, Statistik, Internationaler Schwerpunkt II —マクロ経済・経済情報・統計—</p>	<p><b>Modul 7: Primäre Unternehmensaktivitäten 企業活動のABC</b> Produktion, Marketing, Vertrieb —生産・マーケティング・販売—</p> <p><b>Modul 8: Language and Soft Skills 2 言語・ソフトスキル II</b> Englisch II, 2, Fremdsprache II, Soft Skills II, Social Skills II</p> <p><b>Modul 9: Praktikum I 現場実習 I</b></p>	<p>02</p>																				
<p><b>Modul 10: Übergreifende Unternehmensaktivitäten 企業経営</b> Finanzierung/Investition, Organisation/Personal, Logistische Prozesse, Wirtschaftsinformatik III —財政・投資・組織人事—</p> <p><b>Modul 11: International Business Environment I 国際ビジネス I</b> BWL ausgewählter Wirtschaftssektoren, Globale Wirtschaft, Internationaler Schwerpunkt III —グローバル人材—</p>	<p><b>Modul 12: Fallstudien/Planspiele 事例研究</b> Fallstudien/Projektarbeit, Planspiele I —プラン作成 I—</p> <p><b>Modul 13: Language and Soft Skills III 言語・ソフトスキル III</b> Englisch III, 2, Fremdsprache III, Soft Skills III, Social Skills III</p> <p><b>Modul 14: Praktikum II 現場実習 II</b></p>	<p>03</p>																				
<p><b>Modul 15: Internal and External Accounting 内部・外部会計</b> Controlling, Kostenrechnungssysteme, Bilanzen, Planspiele II —コスト計算・対照表—</p> <p><b>Modul 16: International Business Environment II 国際ビジネス II</b> Internationales Management, Wirtschaftspolitik, Internationaler Schwerpunkt IV</p>	<p><b>Modul 17: Language and Soft Skills IV 言語・ソフトスキル IV</b> Englisch IV, 2, Fremdsprache IV, Soft Skills IV, Social Skills IV, Wissenschaftliches Arbeiten</p> <p><b>Modul 18: Praktikum III 現場実習 III</b></p>	<p>04</p>																				
<p><b>Modul 19: Unternehmensführung 企業管理</b> Corporate Law, Executive Management, Business Process Management</p>	<p><b>Modul 20: Wahlmodul Vertiefungsfach BWL 選択</b> Der Studierende wählt je eine branchen- und funktionsorientierte Vertiefung aus und schreibt in einer Vertiefung eine semesterbegleitende Hausarbeit.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Branchenorientierung</th> <th>分野</th> <th>Funktionsorientierung</th> <th>職能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Entrepreneurship</td> <td>アントレプレナー</td> <td>International Accounting/Controlling</td> <td>国際会計</td> </tr> <tr> <td>Food- and Agribusiness-Management</td> <td>食料</td> <td>Internationales Marketing</td> <td>国際マーケティング</td> </tr> <tr> <td>Industrielles Management</td> <td>工業</td> <td>Vertriebsmanagement</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Tourism and Travel Management</td> <td>観光</td> <td>販売管理</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Branchenorientierung	分野	Funktionsorientierung	職能	Entrepreneurship	アントレプレナー	International Accounting/Controlling	国際会計	Food- and Agribusiness-Management	食料	Internationales Marketing	国際マーケティング	Industrielles Management	工業	Vertriebsmanagement		Tourism and Travel Management	観光	販売管理		<p>05</p>
Branchenorientierung	分野	Funktionsorientierung	職能																			
Entrepreneurship	アントレプレナー	International Accounting/Controlling	国際会計																			
Food- and Agribusiness-Management	食料	Internationales Marketing	国際マーケティング																			
Industrielles Management	工業	Vertriebsmanagement																				
Tourism and Travel Management	観光	販売管理																				
<p><b>Modul 21: Language and Soft Skills V 言語・ソフトスキル V</b> Englisch V, 2, Fremdsprache V, Soft Skills V, Social Skills V</p>	<p><b>Modul 22: Wahlmodul praktische oder wissenschaftliche Vertiefung 選択</b> Der Studierende wählt eine der beiden Vertiefungen aus.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Praktisch</th> <th>実習</th> <th>Wissenschaftlich</th> <th>研究</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Praktikum in der vorlesungsfreien Zeit (6 Wochen)</td> <td></td> <td>Methodik der Markt- und Sozialforschung, Ökonometrie, Theorie komplexer Entscheidungsverfahren</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Praktisch	実習	Wissenschaftlich	研究	Praktikum in der vorlesungsfreien Zeit (6 Wochen)		Methodik der Markt- und Sozialforschung, Ökonometrie, Theorie komplexer Entscheidungsverfahren		<p>06</p>												
Praktisch	実習	Wissenschaftlich	研究																			
Praktikum in der vorlesungsfreien Zeit (6 Wochen)		Methodik der Markt- und Sozialforschung, Ökonometrie, Theorie komplexer Entscheidungsverfahren																				
<p><b>Modul 23: Praktikum IV 現場実習 IV</b></p>	<p><b>Modul 24: Bachelor-Thesis 卒論</b></p>	<p>06</p>																				

①教養科目無し ②専門科目のモジュール化(ヨーロッパ化) ③多くの現場実習(最終期は企業で卒業研究) ④基礎的科目の設定(欧州基準20-30%)

参考9

2014学年度 教育課程表 (A専門大学・歯科衛生科)

内部資料

区分	教科目名	1学年		2学年				3学年				4学年(1年1学期)				計														
		1学期		2学期		1学期		2学期		1学期		2学期		1学期		2学期														
		学点	授業時間	学点	授業時間	学点	授業時間	学点	授業時間	学点	授業時間	学点	授業時間	学点	授業時間	学点	授業時間													
教養必修	大学生活の理解1	0	0	0													0	0												
	TOEIC1	2	2	0													2	2												
	大学生活の理解2			0	0	0											0	0												
	計算責任			1	0	1											1	0												
	TOEIC2			2	2	0											2	2												
	大学文化と未来1					0	0	0									0	0												
	英検英検合格					2	2	0									2	2												
	大学文化と未来2							0	0	0							0	0												
	意見紙提出									2	2	0					2	2												
	進路指導1									0	0	0					0	0												
進路指導2											0	0	0			0	0													
小計	2	2	0	3	2	1	2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	9	8	1									
教養選択	公衆保健学	2	2	0																2	2	0								
	生物学	2	2	0																2	2	0								
	生活音楽	2	2	0																2	2	0								
	エアロビクス	2	0	2																2	0	2								
	心理学				2	2	0													2	2	0								
小計	8	6	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	8	2					
専攻必修	歯牙形態学	2	2	0																2	2	0								
	口腔保健教育学				2	2	0														2	2	0							
	口腔組織発生学				2	2	0														2	2	0							
	口腔解剖学				2	2	0														2	2	0							
	予防歯学				3	3	0														3	3	0							
	臨床歯衛生学実習1				3	1	2														3	1	2							
	歯科材料学				2	2	0														2	2	0							
	歯科放射線学						2	2	0												2	2	0							
	公衆口腔保健学							2	2	0											2	2	0							
	口腔微生物学							2	2	0											2	2	0							
	臨床実習1(現場実習・京4週)							3	0	9											3	0	9							
	歯周学							2	2	0											2	2	0							
	口腔生理学									2	2	0									2	2	0							
	口腔生理学									2	2	0									2	2	0							
	臨床実習2(現場実習・京4週)									3	0	9									3	0	9							
	臨床関係法規											2	2	0							2	2	0							
小計	2	2	0	14	12	2	2	2	0	9	6	9	7	4	9	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	28	20	
専攻選択	歯科コーディネイター実	1	1	0																	1	1	0							
	歯衛生学概論	2	2	0																	2	2	0							
	解剖生理学	2	2	0																	2	2	0							
	歯牙形態学と実習				3	1	2														3	1	2							
	口腔保健教育学と実習						3	1	2												3	1	2							
	予防歯学実習						3	1	2												3	1	2							
	臨床歯衛生学実習2						3	0	3												3	0	3							
	歯科臨床学1(歯科保存学)						3	1	2												3	1	2							
	歯科臨床学2(歯科口腔学)						2	2	0												2	2	0							
	歯科臨床学3(小児歯科学)						2	2	0												2	2	0							
	歯科材料学実と実習				3	1	2														3	1	2							
	免疫学							2	2	0											2	2	0							
	薬理学								2	2	0										2	2	0							
	臨床歯衛生学実習3							3	0	3											3	0	3							
小計	5	5	0	3	1	2	19	8	11	14	9	5	11	6	5	13	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	38	27
教員	教習学概論	2	2	0																	2	2	0							
	保健教育方法論											2	2	0							2	2	0							
小計	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0
教科総計	19	17	2	22	17	5	23	12	11	23	15	14	22	14	14	15	11	4	0	0	0	0	0	0	0	0	124	86	50	

\*もう1つの学科=ジュエリーデザイン科(2年制)も現場実習4週間

Central Ohio Technical College - Key Academic Metrics

Spring 2014

**Accreditation (Regional)**

Higher Learning Commission (HLC) of the North Central Association 中北(西)部制度認証機構(地区)	In good standing; reaffirmation in 2018
Submitted the required Progress Report on Assessment and Faculty Credentials (3/11) and successfully submitted Change Requests to record the address changes of both our Knox and Pataskala campuses and to offer our first degree program in an online format.	Four-year Standard Pathways evaluation visit, December 8-9, 2014

**Accreditation (Programmatic)**

Accrediting Agency: 全米プログラム(認証)	Academic Program:	Status:
National Association for the Education of Young Children Initial accreditation achieved and notification received in a letter of July 14, 2010. Effective June 2010 through July 2017	幼児教育 Early Childhood Development Technology, Early Childhood Development & Teaching options	In good standing; report due annually; reaffirmation in 2017
Commission on Accreditation of Allied Health Education Programs Joint Review Committee on Education in Diagnostic Medical Sonography Technology	超音波医療診断 Diagnostic Medical Sonography Technology	In good standing; Next reaffirmation visit Fall 2016.
Commission on Accreditation of Allied Health Education Programs. Accreditation Review Council on Education in Surgical Technology and Surgical Assisting. Reaffirmation site visit conducted in August 2010. On-site evaluation of Hocking satellite site May 13, 2011.	外科助手 Surgical Technology	In good standing; Next reaffirmation visit 2022.
Joint Review Committee on Education in Radiologic Technology Last reaffirmation – October 2008.	ラジオグラフィ Radiographic Technology	In good standing; next reaffirmation in Fall 2016
Accreditation Commission for Education in Nursing (formerly National League for Nursing Accrediting Commission). Last reaffirmation visit Fall 2012.	看護 Nursing Technology (A.D.N.)	Next evaluation visit Spring 2015 with Warning
State Department of Public Safety	救急治療 Emergency Medical Services (EMT, EMT Advanced, and Paramedic)	In good standing November 30, 2015
Ohio Peace Officer Training Commission, Ohio Attorney General's Office (accredited by each academy offering)	警察 Law Enforcement Technology Basic Police Officer's Training Academy	In good standing
Accreditation Council for Business School and Programs (ACBSP) – Established a timeline for completion and submission of final self-study by 1/30/2015 with site visit to then be scheduled by accrediting body	ビジネスマネジメント Business Management Technology	In process - Target – Spring 2015 site visit
Council for Standards in Human Services Education. The Council for Standards in Human Service Education (CSHSE) has been approved by the Council for Higher Education Accreditation (CHEA) to serve as an accrediting body.	カウンセリング Human Services Technology	In process Target – Autumn 2015 site visit

その他14プログラムについて進行中もしくは認証済